

「ささえ」

2026年1月発行 情報誌 第94号

発行 NPO福祉用具ネット事務局

住所:福岡県田川市伊田 4395(福岡県立大学内)

TEL/FAX: 0947-42-2286

E-mail npo-fukusiyougunet@sage.ocn.ne.jp

URL <http://npofukusiyougu.sakura.ne.jp>

情報誌「ささえ」は年4回(1月・4月・7月・10月)発行しています。

印刷 よしみ工産(株) 北九州市戸畑区天神1丁目13-5

福祉用具はあなたの自立をささえます。

あなたのささえがNPO福祉用具ネットを元気にします。

NPO福祉用具ネットの主な事業は、研修事業とものづくり支援です。

発売中の開発協力品

アイクオーク(株) 発売中
詳しくは、HP参照下さい!

前面吸気タイプ
SIGNAGE
サインエージ

除菌装置



揺動ベッド



(有) ラック発売中

洗髪シャワー

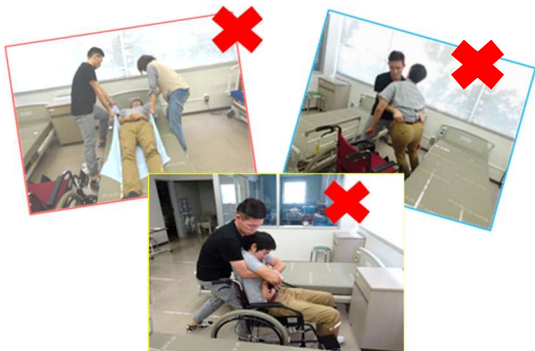
NPO福祉用具ネット開発品第1号

【製造元】(株)福祉SDグループ

【販売元】キヨタ(株)発売中



NPO福祉用具ネットは、抱え上げない介護技術を推進します。令和2年度から福岡県ノーリフティングケア普及促進事業を受託し、推進しています!



これまでの開発協力品 (現在は製造中止)



アルファブラ
ソラクッション



尿吸引ロボ「ヒューマニー」



特定非営利活動法人

NPO福祉用具ネット

「大切な芽を皆さんのやさしさに包まれながら育てていきたい…」

コミュニケーションロボット（施設入所編 その6）

ユメル君 と ばぁーちゃんのびっくり会話 Part 4

NPO福祉用具ネット 理事長 坂田 栄二

認知症の診察

入所してから間もなくして施設から電話。
「明日、病院に連れていきますのでご一緒にいただけませんか。」

認知症の診断らしい。

なんで必要なのか？これまで家にいるときは特段気になることはなかった。時々、コンロを切り忘れ鍋を黒焦げにしたことはあったが、単なる物忘れと思っていた。しかし全く不安がなかった訳ではない。

記憶にない首から下げた鍵

入所前のある日、ヘルパーさんから電話がかかってきて、

「ばぁーちゃんが玄関前に座っていて、私の顔を見るなり、“ひもじい（おなかがすいた）”と言ってます。家に入ろうと思って“鍵がない！”と言ってますけど・・・」

えっ、鍵をなくしたのか！私はあわてて、仕事を止めて車に飛び乗り家へ向かった。

家ではヘルパーさんとばぁーちゃんが玄関前の長イスに並んで座っていた。ヘルパーさんに、

「いつもばぁーちゃんの首から紐で下げているけど・・・」

と言って首元を探るとそこにぶら下がっているではないか。

「あったよ！、これだよ・・・」

ヘルパーさんも、

「なーんだ。ばぁーちゃん持ってたんじゃないかい」とあきれ顔。しかし、ばぁーちゃんは不思議そうな顔をしている。なんでこんなところに鍵があるのか納得がいかない様子。

この時、“もしや・・・”と不安がよぎった。しかし前日まで、何事もなく使いこなしていた鍵だからそんなことはないかと疑念を振り払った。

念のため、デイケアの送迎の人に、鍵を開けて家の中に入るまで見届けてもらうよう無理なお願いをした次第であった。

今、振り返ってみると前兆だったのかもしれない。突然、記憶の一部が欠落する。明日、病院に同行しようと思った。“加齢によるボケならば良いが”という一縷（いちる）の望みにすがっていた。

診察室で何が起きたか

施設の看護師さんと一緒にばぁーちゃんは診察室に入った。もちろん私も一緒に。

若い先生は、さっそくばぁーちゃんにいろいろ話しかけている。先生はばぁーちゃんが真剣に先生の口元を見ているのを感じて施設の看護師さんに

「聞こえていますかね？」

と尋ねた。先生は難聴と知って少し声を大きくして質問を続けた。

「お名前は？」

「お年は？」

「お誕生日は？」

「今日は何日ですか？」

ここまでは、いつも病院の診察時に聞かれている内容なので回答は順調だった。

しかし、

「今は、季節は何ですか？」

と聞かれたとき、急にばぁーちゃんが怪訝（けげん）そうな顔つきに変わった。“この人は、診察もしないで私に何を聞いているんだろう？何が知りたいんだろう？”と不思議に思ったようだ。もちろん先生はちゃんとしたプロトコルで診断を進めているのだがばぁーちゃんにしてみれば“私の体調に関係のない、納得のいかない質問”に過ぎない。

さらに先生の次の質問が追い打ちをかけた。おまけに質問の声は、難聴ということをおぼろげに覚えていたのかささまで、

「先ほど見せた絵は、なんでしたか？」

ばぁーちゃんはその質問を聞くなり、だんまりを決め込んだ。“もう知らん！勝手にしてくれ”と言わんばかりにそっぽを向いてしまった。先生が脈を診る訳でもなく、注射をするわけでもなく、わけのわからぬ質問を繰り返されることは92歳のばぁーちゃんには初めての経験だったから戸惑うことは当然だったのかもしれない。

通常の診断では、例えばレントゲンを撮るときはその病気の可能性や理由を説明してくれる。外傷があれば、その傷口を見て、理由を述べながら治療をしてくれる。しかし認知症の診断では、脳のCTや血液検査などよりも問診が主体となる。

難聴患者の問診の限界はあるか？

先生はもう一度繰り返して同じ質問をしたが、ばぁーちゃんの回答拒否はかたくなだった。

先生はしばらくカルテを見て、

「少し検討してみたいので結果は1週間後に来てください」

と私たちに告げて席を立った。

私はばあちゃんの思いに同調したい。身内びいきかもしれないけれど。

もっと合理的な問診方法はないのか？

それには次の3つの理由が挙げられる。医療従事者でないから、理解できていないことは当然だがなぜか抵抗したくなる。

①通常の診断と異なり、問診が主体で、質問内容は、高齢者にとってはその質問の意図が理解できていない現実離れしたものと受け取られているのではないか。

②難聴でもお構いなしに質問を続ける。

事前に「難聴」であることを告げていても、先生の声は最初は大きい、次第に健常者に聞くレベルの声まで小さくなっている。もちろん付き添いの家族が患者に大きい声で介助するが、家族自体が認知症診断の内容を理解していないので半信半疑の伝達であり、先生の意図は正確に患者には伝わらない。

正しく聞こえていなければ、患者の回答は的はずれになり認知能力が低いと判断されかねない。

また、診察室の環境も影響することがある。周囲の雑音が多いところでは高齢者は聞き分けにくい。また診察室の壁がコンクリート製の場合は、先生の声の反響音が時間差を以って耳に到達するので歪んだ声となり聞き取れないことがある。

③患者に掛ける診察時間が短い

診療報酬の現制度では、一人の患者に長時間を掛けると実質的な収入は下がってしまい病院の経営は成り立たなくなるので、どうしても一人の患者に掛ける診察時間は短くならざるを得ないといわれている。そこで新しく、認知症専門診断管理料（鑑別診断）が設けられ、出来高払いとなっている。しかし、それにも限界がある。他の患者を長時間待たせることになる。また鑑別にはプロトコル通りにやるだけでは十分とは言えない似た症状のいわゆる「ボケ」と区別しなければならぬからである。

本当に認知症なのか？家族の悩み

1週間後の診断の結果は認知症と下された。

やはりそうか！わたしが最も懸念したのは、先生の質問が聞き取れていない難聴者の扱いであった。

ばあちゃんは入所前は、畑の中の一軒家なので、大音量でも近所に迷惑をかけることなくテレビを見ることが出来ていた。

ばあちゃんは相撲中継が好きで、私が様子を見に行くと外まで大きな歓声が聞こえるほどボリュームを上げていた。

次に好きなのが国会中継で、「あの大臣は言うことがおかしい」と私に文句を言うほどだった。

勿論施設では、大音量で視聴することはできない。周囲の人は迷惑千万だからだ。

もう一度ばあちゃんに自宅の環境を

そこで、テレビ好きのばあちゃんに用意したのが「手元スピーカー」だ。テレビのイヤホンジャックにテレビ音声を電波に変える送信機を装着し、手元のスピーカーへ電波を飛ばし、テレビから離れていても手元でそれなりの音量で聞くことが出来る。



しかし、これだけでは、テレビの視聴問題は解決しても、施設の職員さんや他の入居者さんとの会話は解決していない。



これを解決するのが片耳集音器だ。補聴器のような機能で、マイクが入った本体を首から下げ、その増幅された音をイヤホンで聞くものだ。

しかしこれは失敗だった。

イヤホンを耳に装着すると、「痛い！」、「ピー、ピー音がしてうるさい！」、「すぐにイヤホンを落としてしまう」など使い慣れないと、役に立たない。これは3日もかからず全く使わなくなった。そこに現れたのがヘッドホン型集音器である。この機器が、難聴が認知症診断に影響することを明らかにした。

令和7年 新規取組施設 6期生 マネジメント研修スタート 後半の部

第4回目 10月28日・29日 / 第5回目 12月3日・4日 実施



4回目のマネジメント研修は、・委員会について・リスクマネジメントについて・アセスメントとプランニングについて・福祉用具の導入計画と管理・技術教育について学びました。



5回目のマネジメント研修 ・福祉用具導入と機器のメンテナンス ・29項目チェック ・委員会 ・リスクマネジメント ・職員の健康管理と個別 プランニング・アセスメント ・福祉用具の導入と技術教育 について学びました

令和7年度 講師育成報告
新規取組6期生のマネジメント研修11日間を講師体験の機会として、8名が学びました。
統括講師 1期生川端氏・1期生入江氏
講師 3期生清原氏・2期生小早川氏・2期生石橋氏
講師見習 3期生久間氏・4期生釜田氏・1期生佐藤氏
講義のプログラム作成、スライド作成と講義、演習指導、記録物の添削について学びました。



6期生 基本技術研修 10月 リフトおよびスタンディングリフト

令和7年度 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業 6期生4回目の技術研修 2025.10.22
リフト&スタンディングリフトの体験学習

協力企業 アンパサンド様・アビリティーズケアネット様、モリトー様、
いうら様、パラマウントベッド様、ウェルパートナーズ様、サンステップ様



4回目は、リフト&スタンディングリフトの種類と特徴を学び、使い方と対象者としての体験学習。

リフト6機種とスタンディングリフト8機種について学びました。

アンケート結果より

「スタンディングリフトにおいてはこんなにも違いがあるのか。と驚きを感じたと共に万人に合うものではないので慎重に導入を検討しなくてはいいなと感じた。」

「介助する側の操作のしやすさも大事ですが、どれが一番利用者が楽に安全に使えるリフトなのか体験して知る事ができました。」

「使い方に慣れれば介護にとっては腰痛に悩むことなく歳を取っても長く働ける仕事になるのではないかと思います。」

「手動、電動があり、前方・後方に重心がかかるなど商品ごとの特徴を実際に体感でき有意義だった。」



パラマウント様から
施設対象の最新福祉機器の紹介

協力していただいたスタン
ディングリフトの機種

・ウェルパートナーズ
【スマイル】
・いうら
【オンパ】
・アビリティーズケアネット
【ささえ手】
【イーザーアップ】
・サンステップ
【HUG】
【スカイリフト】
【車助さんII】
【レイザープロ】

令和7年度 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業 1期生～3期生対象 ポジショニング技術研修 2025.10.23
協力企業 タイカ様、パラマウントベッド様、サンステップ様(ヒトラボ)



体圧センサーを活用し、ポジショニングの確認！



まずは、
白石講師の
講義からス
タート

現場の事例
写真を共有
し、各グ
ループでポ
ジショニン
グの検討



10月23日9時半～17時 ポジショニング技術 1期生～3期生までのモデル施設対象として企画 29名が受講。
先ず、白石講師から【ポジショニング ～二次障害予防のための24時間軸での姿勢管理～】について受講。
その後、さまざまなクッションを活用し体験学習。
体圧測定器を活用し、実際にポジショニングによる身体の体圧の変化を学んだり、現場の事例写真を持参し、ポジショニングクッションの使い方を学びました。

令和7年度 地域連絡協議会活動報告 10月～12月までの活動

10/30 福岡地域連絡協議会 11/5 技術体験会



11月10日 筑後地域連絡協議会活動 九州大谷短期大学にて技術研修会
11月22日「まるごとみやま市民祭り」にてノーリフティングケア紹介・体験会

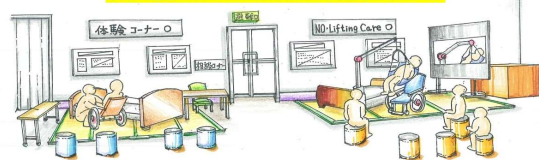


令和7年11月22日(土)「まるごとみやま市民祭り」ノーリフティングケアの紹介

ノーリフティングケアってなに？
(介護を受ける側の立場から実際のケアの姿を体験！)
ノーリフティングケアは、介護職の業務対策だけでなく介護を受ける方にとっても優しいケアです。
介護される視点から、これまでの介護との違いを、是非体感して下さい。
その違いを知った今、あなたはどちらの介護を受けたいですか？

【紹介する内容】
移乗や移動の具体的な介護技術や身体の動かし方、
『福岡県ノーリフティングケア普及促進事業』の取組などを紹介いたします。
また、リフトを活用しながら在宅生活をされている当事者の視点から届いた大切なメッセージも紹介いたします。

市民の皆様を知っていただきたい大切なメッセージ



11月12日 筑豊地域連絡協議会主催フォーラム



1期生2施設からの取組報告と体験会、さらにポスター発表を行いました。来場者数 57名。
アンケートより「何事もそうですが、新しいことを始めようとすると失敗等が付き物だと改めて感じました。ですが、続けて行けば必ず良くなっていくということも改め感じました。」



北九州地域連絡協議会活動報告

11月19日 アンパサンド研修室にてリフト勉強会を開催
今回は、アンパサンドの社長様より、長年リフトメーカーとしての視点から、使い方や管理について教えていただきました。
また、北九州地域の今後の活動についての率直な意見交換も行いました。

令和7年度福岡県ノーリフティングケア普及促進事業 筑豊地域連絡協議会 実践報告
2025.12.17(水) ZOOMにて開催 14時～16時15分
今回は4期生3年目から1期生6年目の実践報告会を実施
どの施設の取組も、とても参考になる取組報告でした！

2期生施設の報告 1期生施設の報告
4期生施設の報告 3期生施設の報告

12月17日
筑豊地域連絡協議会

福岡県ノーリフティングケア 普及促進事業 北九州地域連絡協議会主催
実践報告会開催 2025.12.18

12月18日
北九州地域連絡協議会

令和7年度石炭の歩み
小さな施設の
3年目の取組み
～次の一歩へ～

1期生(6年目)から4期生(3年目)までの11施設の実践報告及び、九州大谷短期大学 専攻科福祉専攻の体験報告会を開催

12/19
筑後地域連絡協議会

介護に
やさしさと
安心を

2025年
12/19 13:00～17:30(受付 12:30)
会場 学校法人九州大谷短期大学 生涯学習センター
生活学習センター棟 及び 大谷講堂南駐車場

12施設が取り組み実践報告発表 体験報告は4施設に予定されています！
会場では簡単なお茶会も実施します！(スマイル・PC)

1期生～4期生まで13施設からの取組報告会をオンラインにて開催
各々の取り組み方は異なるが、確実に定着している福岡県のノーリフティングケア
他の施設の実践報告は大切な情報がいっぱい！
お互いの取組の支えあいの場となっている地域連絡協議会の活動

12月23日
福岡地域連絡協議会

2. 1～4期生 実践報告会
【報告の順番】
① フレンドピーチちはや
② 次郎丸の里
③ ぬむのき
④ ぬむのき・はまゆう
⑤ ぬむのき
⑥ ケアセンターひまわり
⑦ マリアの森
⑧ 白鷺
⑨ ぬまのり
⑩ サンシャインプラザ
1 施設 15分以内 (質疑応答含む)
3 次回の地域連絡協議会
日時：2/24(水) 14:00～16:00
内容：事例検討会、相談会

事務局だより

《令和7年10月から12月までの事務局のうごき》

◆令和7年10月

情報誌発送

みやま市とのイベント準備と打ち合わせ1

- 10月3日 講師打ち合わせ ささえ発送
- 10月7日～10月10日 HCR
- 10月8日 企業との打ち合わせ
- 10月14日 地域開催の会場調整
- 10月15日 筑豊地域連絡協議会オンライン
- 10月16日 筑後地域連絡協議会オンライン
- 10月17日 開発会議

北九州地域連絡協議会活動の打ち合わせ

風の家

- 10月20日 企業開発相談 県庁打ち合わせ
- 10月21日 荷物搬入
- 10月22日 技術研修会 リフト
- 10月23日 技術研修会 ポジショニング
- 10月24日 持つ片付け アンケートまとめ
- 10月27日 会計処理
- 10月28日・29日 マネジメント研修
- 10月30日 福岡地域連絡協議会 白熊園
- 10月31日 12月実施の各調査の打ち合わせ

◆令和7年11月

- 11月4日 開発相談
- 11月5日 福岡地域体験会
- 11月7日 講師打ち合わせ
- 11月10日 筑後地域技術研修会
- 11月11日 筑豊地域会場設営
- 11月12日 筑豊地域フォーラム
- 11月15日 企業訪問
- 11月17日 筑豊地域の報告動画限定配信
- 11月19日 北九州地域技術研修会
- 11月21日 みやま市イベント設営
- 11月22日 イベント 市民対象の体験会開催
- 11月26日 12月からの腰痛調査の案内配信
- 11月29日 調査についての勉強会Web開催

◆令和7年12月

- 12月3日・4日 マネジメント研修
- 12月10日 腰痛調査開始
- 12月17日 筑豊地域実践報告会オンライン
- 12月18日 北九州地域実践報告会
- 12月19日 筑後地域実践報告会 懇親会
- 12月20日 調査期間終了
- 12月23日 福岡地域実践報告会

◆令和8年1月からの予定

- ささえ94号発送
- 11月12日 筑豊地域フォーラムおよび12月19日の筑後地域報告の収録動画の編集と公開準備

及び選出された代表施設のスライドの点検と収録
さらに、4地域の報告動画や講師育成のまとめ

1月8日・9日 6期生個別面談

1月22日 北九州地域連絡協議会

2月24日 福岡地域連絡協議会

その他

年度末に向けての作業

腰痛調査などの集計作業

報告スライドの確認と発表動画の収録

報告冊子の編集

福岡県のホームページへの公開資料の作成など

取組の実践報告について

福岡県ではノーリフティングケア普及策新事業の取組施設数が多いため、12月に4つの地域で報告会を実施いたしました。

その取組発表で選ばれた施設が代表して、福岡県のホームページにて発表動画を公開することになっています。各地域で開催した実践報告会で、1期生～4期生までの施設の中より各地域の代表施設を選出致しました。

以下の代表施設が年度末に福岡県のホームページにて報告を行います。是非、ご覧ください。

また、1年目の6期生と2年目の5期生は全施設が報告をします。

1年目、2年目の取組は施設への定着のためにとっても重要な時期ですので、全施設が取組の成果として報告いたします。

筑豊地域

- 1期生 明日香園
- 2期生 ひまわり園
- 3期生 ほ乃ぼの園
- 4期生 筑穂さくらの園

筑後地域

- 1期生 常照苑くすのきとおり
- 2期生 アルテンハイムヨコクラ
- 3期生 天神会複合施設
- 4期生 紅葉樹

北九州地域

- 1期生 ふじの木園
- 2期生 みやこの苑
- 3期生 石並園
- 4期生 グループホームくもじ

福岡地域

- 1期生 仙寿苑・はまぼう
- 2期生 なの国
- 3期生 能古清和園
- 4期生 白熊園